

事務事業名	29000 道路維持管理費	予算科目	会計 一般	款 8	項 2	目 2	担当班	管理班
基本施策	18 安全で快適な道路の整備	根拠法令	道路法、旭市法定外公共物管理条例				<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業	
施策の展開	35 市道の整備	戦略事業	173 市道の維持補修事業					
施策の展開		戦略事業						

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ <input checked="" type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	●認定市道及び法定外公共物において、道路排水路清掃、街路樹の維持管理等、道路に関する委託事業と作業員を常備することにより道路補修等、住民の要望に速やかに対応する。 【課員】道路排水路の日常的な管理業務 【作業員】主に道路の整地、草刈り、側溝清掃 【委託業務】市道植込(ツツジ、桜)保守、街路樹の維持管理、草刈り 【作業員】常時7人(繁忙期のみさらに2人)
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
車社会の到来により、舗装道路における破損の進行が著しく、破損箇所が起因となる交通事故、2次災害防止の目的及び排水路維持管理のため	・大型ダンプ等の通行により市道・農道の舗装の傷みが激しい。また、大雨による道路の冠水が発生している。 ・笹子トンネルの事故を契機として公共物を適切に管理することが求められており、国の方針によって総合管理計画を28年度までに策定する必要がある。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
住民から道路舗装の陥没及び穴の補修の要望がある。また、農業用排水路について、家庭雑排水を放流している関係上、地元の生産組合管理の排水路等に堆積土があり流れが悪く、大雨が降ると道路が冠水するケースが発生しており、住民から苦情がある。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(29年度の決算) 単位:千円						
1.賃金	13,592	臨時作業員賃金				
2.需用費	9,119	光熱水費、修繕料、燃料費、消耗品費				
3.委託料	11,075	道路排水路等清掃委託				
4.原材料費	7,897	原材料費				
5.その他	9,741	労災等保険料、役務費、機械借上料等				
② 特定財源の内訳(29年度の決算) 単位:千円						
1.国庫支出金	0					
2.都道府県支出金	0					
3.地方債	0					
4.その他	0					

事業費	1.賃金	千円	14,192	14,646	14,484	13,592	18,321
	2.需用費	千円	11,497	12,794	8,181	9,119	11,431
	3.委託料	千円	24,835	7,358	8,777	11,075	12,378
	4.原材料費	千円	8,706	8,498	8,393	7,897	10,500
	5.その他	千円	4,288	8,012	3,853	9,741	4,566
	事業費計(A)	千円	63,518	51,308	43,688	51,424	57,196
財源	1.国庫支出金	千円					
	2.都道府県支出金	千円					
	3.地方債	千円					
	4.その他	千円					
	5.一般財源	千円	63,518	51,308	43,688	51,424	57,196

前年度増減理由 作業用重機(ホイールローダー)の購入

従事職員数 常時 7人 最大 人 × 日 = 延べ 0 人

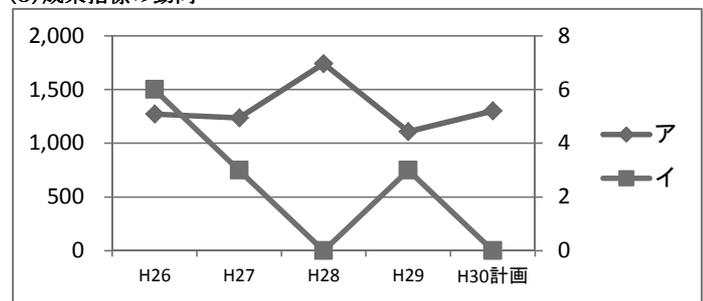
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	29年度実績(29年度に行った主な活動) 道路排水路等清掃委託 道路維持管理		ア 道路の定期草刈り箇所数(委託実施)	箇所	24	29	23	19	21
			イ 作業員による道路補修等	件	500	600	800	500	700
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	対象意図 ア 市道 イ 利用者(市民) ウ 街路樹 ア 安全性の向上 イ 安心して通行できる ウ 景観が保全される		ア 年間要望・苦情の件数	件	1,271	1,235	1,741	1,107	1,300
	対象意図		イ 道路維持管理に起因する車両事故件数	件	6	3	0	3	0

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果			② コスト削減優先度評価結果			
施策貢献度	大きい	成果向上余地 かなりある	評価結果	コスト比率		
	普通	ある程度ある		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	小さい	ほとんどない		①	②	③
			④⑤	⑥	⑦⑧	
			⑨	(7)		

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難									
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値減=成果向上	<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	比較	25年度 26年度	26年度 27年度	27年度 28年度	28年度 29年度	29年度 30計画
③ 今年度取組事項	時期	内容			今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他( )				
(コメント) (低下の場合、その理由)	通年	道路パトロールを強化し事前準備、早期対策、実行に取り組む。			通年	適切な時期に事前対応による処置で苦情、事故件数を減小させる				